

平成27年度 学校経営方針

本校教育信条「**知恵だせ 汗だせ 明るい子**」のもと、教職員と子どもたちが共通の姿勢で実践化を図る中で、知恵に富み、行動力のある、明るく元気な子の育成をめざします。

学校教育目標

- | | |
|--------------------------------|-----|
| ○自分の課題をもち、その解決に向けて取り組もうとする子 | (知) |
| ○自分や友だちのよさを認め合うことができる子 | (徳) |
| ○自他の生命を大切にしようとする子 | (体) |
| ○地域の人やものを大切にし、共に生きようとする子 | (公) |
| ○多様な文化を尊重し、社会に向かって広い視野をもとうとする子 | (開) |

【具体的な取組】

1 学びの充実を図ります

(1) 分かりやすい授業を進めます。そして、**基礎・基本の確実な定着**を図るようにします。学習が楽しいと思う子を増やすことにも努めます。

①一層、個に応じた指導の充実を図ります。(算数の個別学習 少人数指導 TT)

②教員が協力・協働的指導をしたり共に教材開発を行ったりしながら学習を展開します。

(学年内部分教科担任制 学年合同学習 TT)

③家庭学習の習慣化と充実を図るため家庭との連携を強めます。

(繰り返し学習 はっま子学習ドリルの活用)

④学習状況調査や新体力テストで子どもの実態を分析し、その結果を指導に反映します。

(2) 地域の特色を生かした教育課程の実践、充実を図ります。

①自然等に関わる体験活動を推進します。(4.5年愛川 6年日光 6組上郷森の家)

②地域に学ぶ学習を充実します。地域を素材にした学習を進める中で、地域の人や施設関係者の人たちとのふれ合いを通して、豊かな人間関係の育成と学びの広がりをめざします。

また、異学年交流や縦割り班活動の充実を図ります。

(読書時間の確保〔月 水 金の週3日〕読み聞かせボランティアによる読書活動の推進、地域に学ぶ生活科・横浜の時間の充実、地域指導者とのクラブ活動での交流、全校遠足 幼稚園・保育園との複数回交流)

学力向上プログラム (重点項目)

①算数の基礎・基本の確実な定着を図ります。(個別学習 少人数指導 TT)

②3年生からの国語辞書の個人持ちを奨励し、言語活動の充実を図ります。

③自分の考えを記録し、それをもとに学習が深められるようノート指導の充実を図ります。

④読書に親しむ機会の確保(朝読書、読み聞かせ)と習慣化を図ります。

⑤宿題に漢字や計算プリントを活用し、家庭学習の習慣化を図ります。

- (3) 運動に親しむ機会を確保し、めあてを持って楽しく体を動かすことを通して、**体力の向上**を図ることに取り組みます。

体力向上プログラム（重点項目）

- ①朝の時間や中休みに、季節に応じた体力づくりを推進します。（縄跳び 持久走）
- ②特別クラブを基盤にした運動を推進します。（サッカー バasketボール 持久走）
- ③進んで体力づくりを進める体育学習の工夫・改善を図ります。
- ④家庭と連携した食習慣・生活習慣の改善を図ります。

- (4) 自主的、実践的な児童活動の運営を積極的に支援します。

（クラブ、委員会、特別クラブなどの特別活動 縦割り活動 学校行事や地域行事）

- (5) 子ども一人ひとりの教育計画に沿った個別支援教育の充実を図ります。

（個別支援計画の充実 交流級及び保護者との連携、協働）

2 安全・安心な学校づくりを進めます

- (1) 「だれもが 安心して 豊かな生活ができる学校」をめざし、教職員全員の共通理解を基盤に児童指導及び児童支援の充実を図り、学校が楽しいと思う児童を増やします。

（特別支援教育の充実 学校スタンダードの実践及び改善 保護者や関係機関との積極的な連携）

- ① 権尊重の精神を基盤にし、子ども一人ひとりをしっかり見つめます。

（人権に関する児童会テーマへの取組 道徳教育、人権教育の推進）

- ② 教職員が、「暴力 暴言 いじめを許さない」毅然とした態度で児童に接します。

（道徳を含めた全教育活動の中での未然防止への取組

定期的ないじめに関するアンケートの実施と早期対応）

- (2) 学校防犯体制を基本にして、子どもの生活の安全・安心を高めます。

（保護者、安全パトロール隊等の防犯活動、関係機関との強固な連携

子どもの危機回避能力を高める防犯・防災学習の充実）

- (3) 校舎内外の教育環境の整備を図ります。

（プレハブ校舎解体に伴う跡地の活用 学習用水田の設置）

3 明るく楽しい学校づくりを進めます

- (1) 全教職員が「明るく 元気に 笑顔」で、やさしく時には厳しく子どもたちに接します。

- (2) よい行いや活躍には、全教職員が賞賛をおくります。

- (3) 全教職員がセクハラ及び不祥事の防止に努めます。

- (4) 子どもたちがしっかりと挨拶ができるよう支援します。

（学級指導 挨拶運動 日常の声かけ）

4 地域への発信を積極的に進めます

- (1) 家庭や地域との絆を深めます。「ふるさと竹山」を合い言葉に、学校や地域を大切にする子どもを育みます。（教育相談の充実 地域施設の活用 地域行事への積極的参加）

- (2) PTA、ボランティア、まちとともに歩む学校づくり懇話会との連携を図り、「開かれた学校」を推進します。

- (3) 保護者や地域の方々への情報公開と説明責任を果たします。

（学校説明会 学校だより 学校HP メールによる不審者情報等の地域への配信）